

# 江戸川学園取手中・高等学校

## 調理同好会

高校生ボランティア・アワード2020

### 地域貢献

#### 活動概要

私たち調理同好会は2018年度より「江戸取フードドライブ」、2019年度より「多文化共生～取手市内に住む外国の方と料理を作ろう～」に取り組んでいます。私たちは12月にフードドライブ活動を実施。今年度も活動を実施予定です。2月には、多文化共生として取手市内に住む外国の方と日本料理を作って一緒に試食をしました。

#### 江戸取フードドライブ(2018～)

「江戸取フードドライブ」では家庭で余った賞味期限が二か月以上の常温で保存できる食べ物を各家庭から持っていただき、その後部員の手により箱詰めしフードドライブの事務所に集め、そこから各団体へ寄付するという取り組みです。この活動では毎年多くの寄付をいただいております。

#### 多文化共生～取手市内に住む外国の方と料理を作ろう～(2019～)

この活動の中では市内の海外の方と一緒に調理をすることで海外の方に分かりやすい「やさしい日本語」の意味、多文化共生とは何かを考える機会となりました。

### ①食品回収の様子



### ②食品仕分けの様子



### 「万人にやさしい世界」 『広い視野を持つ』

私たちは2018年度より地域に貢献するためにボランティア活動を行ってきました。その中で日本の子供の貧困率は13.9%にもなることを知り、食べ物に困る子供が想像よりも多く存在していることに愕然としました。また、海外の方との調理活動ではレシピの書き方などにも気を付けました。擬音などは国や言語によって表現が違うため分かりやすい日本語とは言えず、私たちが海外の方と接するときに「優しい日本語」で話しているつもりでも気づかぬうちに分かりにくい「優しくない日本語」で話しかけているのかもしれないと思いました。これらの活動で万人に優しい社会を作るとは難しいということ学びました。しかし、これらの問題は私たち一人一人が意識を高く持ったり気を付けたりすることで解決への第一歩を踏み出せると感じています。

### ③フードバンク茨城訪問



### ⑤新聞への掲載



### 「活動を調理同好会の伝統に！」(継続こそ力なり)

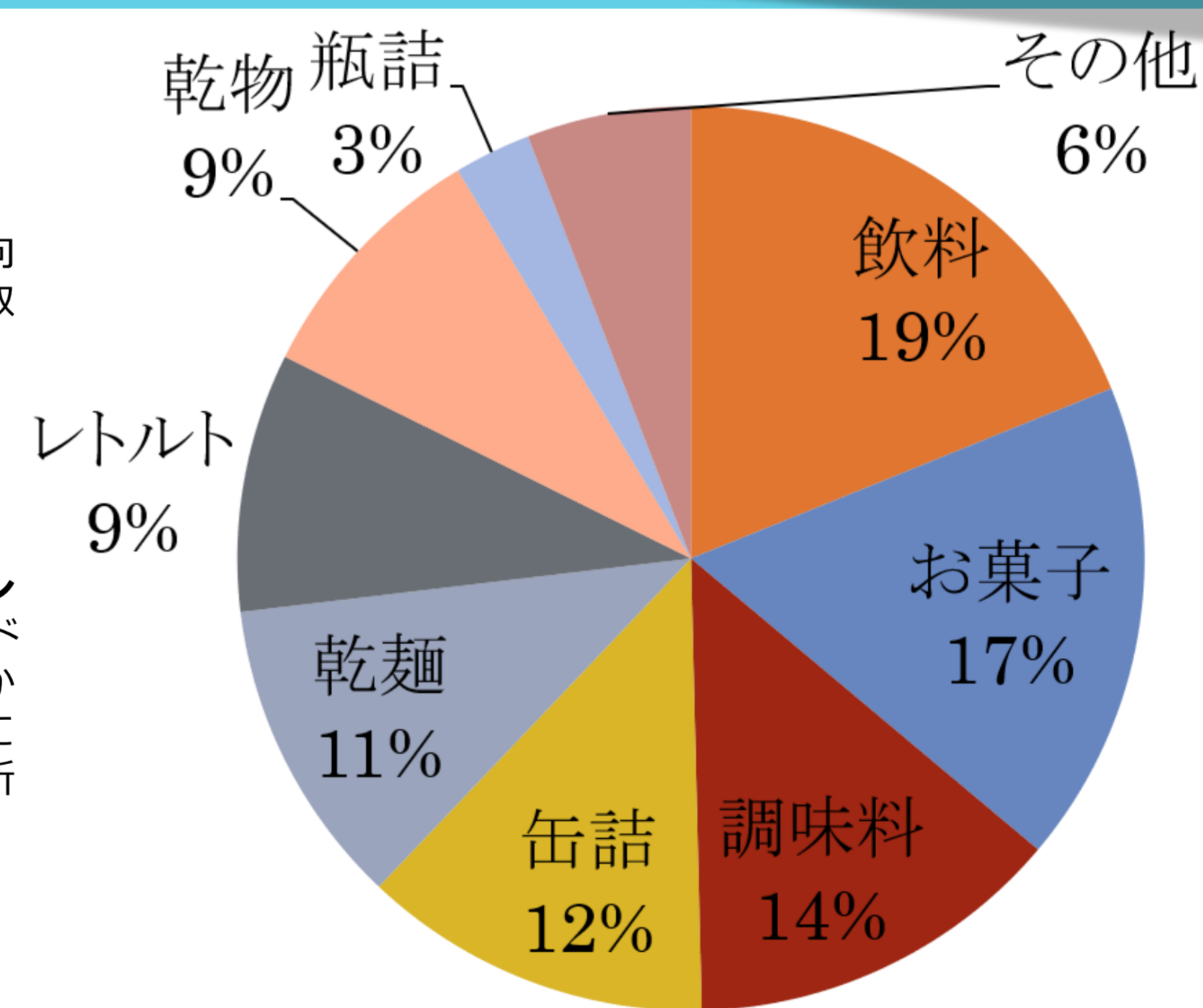
私たち調理同好会は2018年度より「江戸取フードドライブ」、2019年度より「多文化共生～取手市内に住む外国の方と料理を作ろう～」に取り組んでいます。普段は調理を楽しむ部活ですが社会貢献活動も実施したいという部員の思いから、12月にフードドライブ活動を実施。フードロスへの意識の向上および相対的貧困についても考える機会となるように活動しています。今年度も12月に3回目の活動を実施予定です。2月には、多文化共生として取手市内に住む外国の方を招待し簡単な日本料理を作って一緒に試食しました。

#### 江戸取フードドライブ

「江戸取フードドライブ」では家庭で余った賞味期限が二か月以上の常温で保存できる食べ物を各家庭から持っていただき、調理同好会の有志により食品を食堂前で回収、確認(図①)。その後飲料や菓子類などに分けて箱詰めし(図②)、茨城県牛久市にあるフードドライブの事務所に集結させ、そこから社会福祉協議会を通じて経済的に苦しい家庭や子供たちを支援している施設、無料塾、障がい者支援をしている施設・団体などへ無償で寄付するという取り組みです。2018年度は一週間で330kgの食品が集まり寄付することができました。(食品の種類割合は右図)また、校内でのフードバンク活動の認知度は32%から78%へ増加しました。(本校classiアンケート調査より)2018年度には部員3名で見学を、2019年度には、部員5名でフードバンクの事務所を訪れ、フードバンクの現状や実際に困窮家庭に寄付される食品の仕分けを行い(図③)、食品の仕分けでは各支援が必要な家庭・団体からの申請書をもとに水道やガスは通っている家庭なのか、普段から料理をする人はいるのか、子供がいる家庭なのかなどを踏まえレトルトや缶詰を中心に調理ができるように調味料を入れるか、お菓子などを多めに入れるかやなどを考えました。また、校内でのフードドライブの取り組みが朝日新聞で紹介されました。(図④『朝日新聞 2019年12月20日朝刊』より)2018年度のフードドライブは茨城県で高校生主体のフードドライブとしては初めてであり、これを機会に多くの高校でも活動がスタートしていることを嬉しく思います。

#### 多文化共生～取手市内に住む外国の方と料理を作ろう～

この活動の中では市内の海外の方と一緒に調理をすることで海外の方に分かりやすい「やさしい日本語」の意味、多文化共生とは何かを考える機会となりました。この取り組みも継続を予定していましたが新型コロナウイルス感染症により今年度は実施を断念しました。



### 「食から始まる」

### 今後の展望・夢など

私たち調理同好会は数年前までは月一回程度の割合で集まり、和気あいあいとしそうめんをしたり、文化祭では屋台を出して食べ物売ったりする校内ではあまり目立たない部活でした。その雰囲気は基本的には変わっていませんが三年前から何か我々にできることはないかという先輩方の熱い思いのもとでフードドライブ活動が始まりました。その結果調理同好会の活動も認知され始めこれからより一層フードドライブ活動が校内に浸透していくと考えています。そして今後は地域や県、国全体でフードドライブ活動が広く認知され、より多くの支援ができたという夢を抱いています。この夢を叶えるために今後もフードバンク活動にはより一層力を入れていき、さらに他のボランティア活動にも積極的に取り組み食から始まったボランティアの輪を広げていけたらよいと思います。

また、昨年から市内の海外の方との調理を通じての交流が始まりました。この活動には右の写真のように多くの生徒が参加し食によるふれあいの輪を広げることができました。

まだまだボランティアとしての活動量は少ないですがこれから私たち調理同好会はこの活動が後輩へと受け継ぎ更なる高みを目指して飛躍していきたいと考えていますのでこれからの活躍をぜひ校内や地域の皆様温かく見守っていただきたいです。



### 江戸川学園取手中・高等学校調理同好会

調理同好会は主に月に一度のペースで土曜日の放課後に調理をしています。調理が好きな人・食べることが好きな人・食に関心のある人が集まり、特別な料理を作るのではなく日常に花を添えられるような料理・お菓子を作っています。また、2018年度より有志でフードドライブ活動の主導や同好会外からの参加者も募った市内に住む海外の方と調理をするなどの私たち調理同好会の根本である「食」を通じての社会貢献も行っています。活動を通して地域の役に立てるような部活になれるよう日々努力しています。